

学校の教育目標

- 思いやる
- よく考える
- 力強く生きる

- (徳) 豊かな心の育成
(知) 確かな学力
(体) 健やかな体

} 「生きる力」

学校の教育目標
思いやる
よく考える
力強く生きる

めざす学校の姿
感動と活力のある学校
学ぶ期待のある学校
一人一人が輝く学校

めざす教師像
生徒にやさしさ、厳しさ、感動を与える教師
指導力の向上を目指し、自ら学び続ける教師
組織の一員として責任が果たせる教師

めざす生徒像
人を思いやる心をもち、他と共同できる生徒
広い視野をもち、意欲的に学ぶ生徒
社会性と規範意識をもつ生徒
心と身体の健康に留意し、鍛錬に努める生徒

重点目標

① <感動と活力のある学校づくり> 自分らしくよりよく生きようとする力を育む教育の充実	〈 〉 [] [] () 内はそれぞれ令和5・令和4・令和3・令和2年度
◆生徒の学校関係者評価 「学校生活は楽しい」を90%以上とする。 「烏山中学校が好きである」を90%以上とする。	89% <87%> [92%] [92%] (91%)
◆保護者の学校関係者評価 「本校の学校生活は子どもにとって楽しい」を90%以上とする。	89% <85%> [85%] [88%] (87%)
② <学ぶ期待のある学校づくり> わかる喜びを与えられる確かな学力の定着及び向上	82% <83%> [82%] [87%] (90%)
◆生徒の学校関係者評価 「先生は、わかりやすく授業をしている」を90%以上とする。	94% <85%> [84%] [90%] (92%)
◆保護者の学校関係者評価 「本校は、分かりやすい授業をしている」を70%以上とする。	54% <51%> [46%] [57%] (59%)
③ <一人一人が輝く学校づくり> 思いやる心とよりよい人間関係の在り方を育て豊かな人間性を育成	
◆生徒の学校関係者評価 「烏山中学校はあいさつをよくする学校である」を80%以上とする。	90% <86%> [89%] [89%] (81%)
◆保護者の学校関係者評価 「烏山中学校はあいさつをよくする学校である」を80%以上とする。	74% <71%> [70%] [75%] (74%)
◆地域の学校関係者評価 「烏山中の生徒は、行事などの取り組みで豊かな感性が育っている」を80%以上とする	79% <80%> [88%] [67%] (87%)

学校の教育目標及び重点目標達成のための基本方針

◎キャリア教育の充実	◎個々のニーズに応じた教育の充実
・生涯にわたり自己実現を目指すために、自己の役割や将来の生き方、働き方等の生き方指導をキャリア教育の中心に据えて指導する。	・多様な人々と協働する共生社会の実現を目指すために、「せたがやインクルーシブ教育ガイドライン」に基づき、一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識し、自他共に価値ある存在として尊重する取り組みを推進する。
・勤労意欲や社会奉仕の精神を育むために、職場体験・職業講話等の体験活動を通して「キャリア・未来デザイン教育」の実現を目指す。	
・一人一人の資質・能力を育むために、「烏山学舎」(幼保小中)と都立久我山青光学園との連携を図り「キャリア・未来デザイン教育」を推進する。	
◎課題解決的な学習の展開に向けた授業改善	◎非認知能力の育成
・「せたがや探究的な学び」のできる生徒を育成するために、世田谷区教育要領に基づき、学習指導要領を踏まえた指導を推進する。	・自立した一人の人間としてたくましく、大らかに生きていく総合的な力を身に付けるために、人と関わり、自ら「感じ」「発想し」「考え」「表現する」非認知能力を育む。
・一人一人の学力に応じて個を活かす「個々の教育ニーズに応じた教育」を実現するため、世田谷区教育要領に基づき、数学・英語で少人数・習熟度別指導の実施及び計画的評価を進めること。	・「人を思いやり、目標達成に向け頑張りやり抜く力」を付けるために、「世田谷マネジメントスタンダード」が目指す豊かな地域の教育基盤を生かし、学校・家庭・地域が連携・協働し、地域と共に人と関わり子供を育む。
・教員として必要な基礎的知識、実践的な指導力向上を目指すために、年間を通して研修を実施する。	◎不登校・いじめの予防・早期対応・解決に向けた取り組みの充実
・主体的・対話的で深い学びの充実に向け、ICTインフルエンサー等を中心としてICT機器等の効果的活用について研修を深め、授業を改善する。	・生徒が健全で豊かな心を育むために、いじめや不登校等に悩む個々の生徒や家庭に寄り添い、原因の早期発見・早期対応に努める。
・共に学び、共に育つための質の高い教育を行うために、ユニバーサルデザインの視点を活かした指導方法の工夫・改善に努める。	・不登校の未然防止に向け、支援体制の充実を図りながら、不登校に関する校内研修や居場所づくりの体制づくりに取り組む。
◎人権尊重の精神に基づく人権教育の推進	・生徒が互いを認め、心通う人間関係を育むために、「世田谷区いじめ防止基本方針」・「烏山中学校いじめ防止基本方針」を踏まえ、組織的・継続的に全ての教育活動で未然防止に取り組む。
・あらゆる差別・偏見をなくし、人権尊重、生命尊重、多様性尊重の教育を重視するために、特別支援教育を含めた全ての教育活動を通して、責任感と思いやり等を育み、集団の一員としての自覚と主体的な関わり方を身に付けさせる。	

重点目標の具現化の方策

以下の内容を、ICT 機器の活用を図りながら創意工夫し実施する。

<p style="text-align: center;">以下的内容を、ICT 機器の活用を図りながら創意工夫し実施する。</p>		
<p>学習指導</p>	<p>○他者と共に考え、学びを深め「できた！」「わかった！」が実感できる授業づくり ○「せたがや探究的な学び」の推進 ○「キャリア・未来デザイン教育」の推進 ○ユニバーサルデザインの視点を活かした、学びやすい環境、分かりやすい授業の展開</p>	<p>○主体的・対話的で深い学びの推進 （「内発的動機付け」による学び） ○指導方法改善と信頼される適切な評価評定 ○GIGA スクール構想に則ったタブレット端末・ICT 機器を活用した授業の推進 ○少人数・習熟度別指導ガイドラインに即した指導の徹底と指導法の改善(数・英) ○前年度学習習得確認調査、全国・都の学力調査による授業改善 ○教育内容厳選とその定着、基礎基本の定着 自学自習充実（適切な課題と家庭学習習慣化） ○補充学習の充実 (国語・数学・英語を中心に全教科で)</p>
<p>生活指導 特別活動 (行事、学級活動、委員会活動、部活動他)</p>	<p>○生徒同士、生徒・教員間の良好な関係構築 ・「ハートフルウィーク」や「やりとり帳」を活用した関係づくりの継続実施 ○生徒主体の学校行事実施に向けた工夫 ○いじめ防止授業、生徒主体の取組の工夫 ○WEBQU 調査の実施・活用、適切なアセスメントの実施</p>	<p>○健康教育及び生活改善(保健指導・学習)の充実 ○他者と共に考え、自己の心の成長に向けた体験活動・体験的学習の工夫 ○自然災害発生時備えた訓練の充実</p>
<p>総合的な学習の時間 教科「日本語」 特別の教科 道徳</p>	<p>○ICT 機器等を活用した情報取集・情報活用力の育成 ○生徒の内面を耕し、自己統制力を育てる指導の徹底</p>	<p>○自ら課題を発見し、他者と協働しながら解決を図る能力の育成 ○「考える道徳」「議論する道徳」への強化</p>
<p>その他</p>	<p>○生徒や家庭に寄り添った迅速・親切・丁寧な指導の徹底 ○生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導及び支援の工夫（すまいるルーム、ほっとルームの活用など） ○体罰、不適切な指導の撲滅(体罰調査等の実施) ○威力によらない魅力による生活指導 ○効率的な打合わせ、諸会議等の実現により、生徒と関わる時間を確保 ○HP・学校日記・各種便りによる情報発信 ○学校公開実施の工夫 ○教員業務精選・役割分担の見直しなど業務改善の推進</p>	<p>○常に学び続ける教師(校内研修の充実) ○ICT インフルエンサーによるタブレット端末等の効果的な利用について研修を深める ○若手教員育成(OJT・学期2回の研究授業) ○個に応じた指導充実(フォローアップ等) ○3年生希望者対象の土曜補習(習熟度別) ○管理職による授業観察 ○学校支援コーディネーターと連携した英検・漢検の実施 ○ドリル系アプリ等活用促進(家庭学習での利活用)</p>